

みえ市民活動ボランティアセンター 運営委員会のご紹介

運営委員会世話人

運営委員会ってナーニ？

- 「みえ市民活動ボランティアセンター」の日々の運営に関すること
- 利用に関するルール作成
- 囑託さんが判断に迷う、課題の解決
- 中長期のセンターのあり方などを話し合っています

どういうメンバー構成なの？

入居団体(国際)



センター利用者



世話人

入居団体(NPO)



運営委員に名乗りをあげた
メンバー**15**人のうちから

世話人**3**人

幹事**1**人を互選

センター利用者



嘱託員



入居団体(青少年)



嘱託員



入居団体(県社協ボランティアセンター)

運営委員会への参加は？

- 市民活動ニュースやセンターMLで例会の案内をしています
- 運営委員会の核となるメンバーは固定化されていますが、当日誰でも参加OK
- ご都合のよいときに参加ください
- 市民活動ボランティアセンターを日頃ご利用の方は積極的に参加し、よりよい運営をご提案ください

運営委員会はいつ、どこで？

- 原則、月1回（課題があるときは随時）
- みえ市民活動ボランティアセンター（津駅前アスト津3階）交流スペースにて
- 19時から21時までの2時間
- 市民活動ニュースやセンターメーリングリストで案内されています（分からない方はお電話やメールでお問い合わせください）

電話 059-222-5995

e-mail open@mienpo.net

いままでの経緯は？

三重県市民活動センター(県庁前 県民サービスセンター4階)から、みえ市民活動ボランティアセンター(津駅前 アスト津3階)へ移転

引越しによって何が変わったか

NPO室による活動支援の場であった三重県市民活動センターから複数の入居構成団体にかかわる県民交流の場となる

三重県市民活動センターは

98年12月1日 三重県市民活動センター開設

98年5月～

県内各地から集まった開設準備会メンバーによって、市民活動の支援の場とはどういう場であるべきか、熱い議論が繰り広げられた
議論の中から、三重県市民活動ダイレクトリーづくりも行われた

狭い分、みんなが譲り合い活気にあふれていた

みえ市民活動ボランティアセンターは

01年4月1日 みえ市民活動ボランティア
センター開設

00年秋～

アスト津入居予定団体にも呼びかけ、移転
にかかるさまざまな調整、話し合いが運営
委員会の席上行われた

市民、手づくりのオープニングも計画、実施

アストに引っ越して何が変わったの？

入居団体〔県NPO室+(社)三重県社会福祉協議会ボランティアセンター、県国際課+(財)三重県国際交流財団、県青少年女性課+(社)三重県青少年育成県民会議、三重県旅券センター〕が増えて、それぞれにかかわる活動団体や人が訪れるようになった

津駅に隣接しているため、学生さんをはじめ新たな訪問者も

運営委員会の課題

- 利用者、とくに市民の参加が少ない
- 一時は、学生さんの勉強部屋の様相を呈した ⇒ 本来の設置目的を知ってもらうため、囑託さんの提案によりキャンペーンを実施し改善される
- だんだん会議が低調になってきた

運営委員会が低調なわけ

- 県内各地に民設民営、公設民営など、さまざまな支援センターが開設
- 各地にいろいろなネットワークができた
- 自分たちの活動が忙しくなった
- 参加しても面白い話ではない
- 誰かが運営にかかわってくれていれば、それでよいという市民側の意識

市民にとって どういう意味があるの？

- 三重県生活部NPO担当をはじめ、
行政との出会いの場
＝市民と行政との仲介や相談窓口も
- 情報収集・情報提供の場
- さまざまな政策提言の場
- 市民活動や会議の場 など